



フォトギャラリー



「対馬の空」 撮影：末石 眞さん



「雲海（モンブランにて）」
撮影：後藤 智彦さん



「冬の一日」 撮影：浴 薫さん



「病棟からの冬」 撮影：高畑 周子さん



皆様新年おめでとうございます。
平成23年の年頭に下志津病院ニュース第7号をお届けいたします。

今年も四街道市を中心として地域医療の発展と維持に努めます・・・と申し上げようとした矢先、当院にとって少々心配な話が飛び込んできました。地域医療の根幹といってもよい小児救急医療、周産期医療、救命救急医療、結核医療、救急勤務医支援などに関して国から国立病院機構（以下、国立病院）に出ていた運営費交付金が全くのゼロ査定となってしまいました。理由は国立病院が黒字だからだそうです。

確かに、自治体が運営する公立病院の累積欠損金（赤字）がとうとう2兆1500億円あまりになった一方で、国立病院は350億円の黒字になっております（平成23年1月8日付け日本経済新聞）。しかし、国立病院は公立病院に比べて、医療系、事務系ともに人員が少なく、さらに給与の面でも、特に医師の給与が公立病院に比べて低

いことは今や広く知れ渡っていることです。この差が公立病院と国立病院の経営状態の違いの大きな部分です。千葉県内においても事情は全く同じです。

国立病院は今まで投資を抑え、人件費も抑えて費用を捻出し、この黒字分で今後の新病棟等の建て替えや高額医療機器の更新導入を独力で行おうとしております。国からそのための補助は原則として受けておりません。そのためにこの黒字を出す努力をしているわけです。しかし、小児救急、結核、救命救急などはやればやるほど赤字がかさむ分野です。ですから多少の補助が必要なのです。現に公立病院には多額の補助金が出ております。いくら国の財政状況が苦しいからといって国立病院の、この分野の予算を削るのは、少々乱暴ではないでしょうか。今後の民主党政権の施策に注目したいと思います。

多難な新年の幕開けではありますが、国立病院の1施設である下志津病院としては、今後も患者さんの目線にたった、一定レベル以上の医療を提供することには変わりはありません。本年も下志津病院をよろしく願いいたします。

院長 吉田 孝宣

消化器内科の紹介

放射線科医長
篠崎 文信

3大内科的疾患である呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患のうちの消化器疾患の診断と治療を行っております。皆様ご存じと思われますが消化器疾患には口から肛門までの消化管は勿論のこと肝臓、膵臓、胆嚢胆管等の病気があります。当院では吉田院長、富澤医長、私と外科の先生方の協力をお願いして消化器疾患の診療を行っております。

外来診療

新患、予約外の患者さま、他の医療機関からの紹介患者さまは原則として午前8時30分から11時までの受付ですが救急の患者さまは随時受け付けております。

外来検査について

●内視鏡検査

上部（食道、胃、十二指腸）内視鏡検査は、富澤医長、白井医長（外科）、長谷川医師（外科）、私とで行っております。口からの経口内視鏡も行っておりますが数年前に鼻からの経鼻内視鏡を導入いたしました。経鼻内視鏡は嘔吐反射が少なく経口内視鏡よりかなり楽に検査を受けることができます。しかし経鼻内視鏡の不向きな方もいらっしゃるしますので予約の際にご相談下さい。

●超音波検査（エコー検査）

吉田院長、富澤医長、私と臨床検査科の松岡検査技師、高松検査技師、中島検査技師で行っております。超音波検査はきわめて苦痛の少ない検査でかつ腹部全体のスクリーニング検査が可能です。腹部CT、MRI（平成23年度に上位機種に更新の予定です）検査を併用することにより腹部全体の診断をすることができます。

入院検査・治療について

消化器疾患は検査・治療に侵襲的手段が求められることがあります。これらの検査・治療のためには入院していただく必要があります。

- ・肝臓に針を刺して組織を採取し確定診断をする肝生検検査が必要な時もあります。
- ・肝に腫瘍があると腹部血管造影検査の後に肝動脈塞栓術等を行ったりエタノール注入療法を行ったりします。
- ・胆石症や胆嚢胆管腫瘍、膵臓腫瘍で胆汁の排出が悪くなる閉塞性黄疸では肝臓を通して胆管内にチューブを挿入する経皮経肝胆汁ドレナージ術を施行する場合があります。
- ・胆管胆石症では胃カメラよりも少し長い十二指腸ファイバーを用いて胆管の出口を電気メスで切開し手術をせずに胆石を取り出すことができます。

以上のような手段等を用いて私どもは消化器疾患の診断と治療を行っておりますが、最初から侵襲的検査、治療に入るのではなく「お腹が痛い」「検診で肝障害を指摘された」等の方が外来にいらっしやるとまず採血、腹部の単純写真、超音波検査、腹部CT等患者さまに苦痛の無い検査より入り必要に応じて次の段階に進み確定診断、治療へと到達いたします。消化器疾患をお持ちの方、腹部症状のある方は内科外来を受診し相談して下さい。



[消化器内科担当医と2病棟スタッフ]

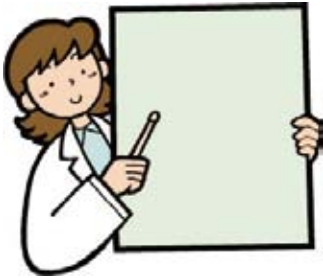
消化器内科の看護について

2病棟は、内科・外科・整形外科の患者さまが入院しています。

内科はリウマチをはじめ膠原病と肝臓・胆嚢・胃など消化器疾患、呼吸器疾患など、外科・整形外科は主に手術をしない治療が必要な方が入院しています。

今回は、消化器の看護について紹介いたします。

消化器内科で入院される方は、初めから検査を目的とされる方や検査の結果（手術を含め）治療が必要になる方もいらっしゃいます。どのような場合も私たち病棟スタッフは、検査・治療に対する不安をできるだけ表現していただき、少しでも不安を軽減していただけるように努めています。時には、胆管の中に入っているチューブを付けたまま退院なさる場合もあります。そのような場合は、退院後に自宅でチューブの管理ができるように入院中から病棟スタッフが指導します。退院後次の受診日までの間にどんな症状があったら外来に連絡し相談すればよいかも退院までに、お教えいたします。このように入院中の生活だけでなく、退院後の生活を考えた生活指導をはじめとし、MSW(メディカルソーシャルワーカー)等とも連携を行い、チームで様々な支援を行っています。



お気軽にご相談ください。 2病棟 スタッフ一同

動脈硬化検査装置について



今年度、臨床検査科に動脈硬化検査装置「バセラVS-1500AE」が整備されました。この装置は動脈硬化性病変および下肢動脈の狭窄・塞栓評価に有用で、昨年10月より検査を開始しましたのでご紹介させていただきます。

動脈硬化は血管壁が厚くなり弾力性が失われ、血管の劣化や内径が狭くなってしまいう状態、加齢により誰にでもおこりますが、個人差も大きく食生活や運動など生活習慣にも関連しています。進行すると脳出血や脳梗塞、狭心症、心筋梗塞など重大な病気につながる危険性もあります。

今回導入した装置は上腕・足首脈波、心音、身長から動脈硬化の評価、足関節・上腕血圧比から下肢動脈の狭窄・塞栓の評価を行います。検査はとても簡単で、ベッドに横になっていただき心音マイクと両腕・両下肢にカフ（血圧測定時、腕に巻くバンドと同じようなもの）を巻き、血圧を測る要領で測定を行い10分程度で終了します。

臨床検査科技師長 林 亮



地域医療機関様からのCT・MRI検査は、 インターネット予約を開始します

2月下旬開始!

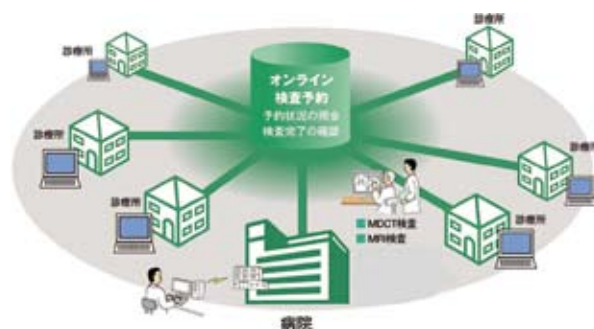
当院では、医療機器の効率的な運用を進め、より質の高い医療を地域の皆様に提供するため「病診連携」を積極的に進めております。

この一環として、地域医療機関様にご利用いただける、CT、MRI検査のインターネットを利用したオンライン検査予約システムを導入することとなりました。

本システムは、あらかじめお申し込みいただいた地域医療機関様が、当院の設定した検査枠に対して、

24時間自由にオンラインで検査予約を行えるものです。これにより、当院の診療時間外でも、画面上で検査の空き状況を確認しながら、その場で予約をお取りいただくことができるようになりました。

今後とも地域の先生方と連携しながら、地域医療にさらに貢献していければと思っております。どうぞ本システムのご活用をよろしくお願い致します。



- いつでも空き状況を確認でき、患者さまのご都合を聞きながら予約が取れます。
- 当院の診療時間に関係なく、いつでも予約を取ることができます。(夜間、土日)

インターネット予約を利用した検査(CT・MRI)の流れ

1 検査の予約

WEB画面上で、空いている日時を選択し、検査項目等の必要事項を入力していただき、患者さまにプリンターから出力される説明書等をお渡ししていただきます。

2 検査当日

カルテを作成してお待ちしておりますので、スムーズに検査を受けていただくことができます。

3 検査結果の受け渡し

御依頼医療機関様宛に、結果レポート、フィルムを郵送いたします。(CDも可)

予約画面



インターネット予約を行う検査

CT(単純撮影のみ)

MRI(単純撮影のみ)

1. 頭部・頸部
2. 胸部
3. 腹部
4. 骨盤
5. 四肢
6. 脊椎

1. 頭部
2. 脊椎・脊髄
3. 膝関節
4. 股関節

- 本予約システムは、地域医療機関用システムです。患者さまが直接ご利用することはできません。
- 本予約システムをご利用される地域医療機関様は、お申し込みが必要です。下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み先
放射線科 TEL: 043-422-2511 内線270

パキスタン洪水被害に対する国際緊急援助活動を行って参りました

パキスタン・イスラム共和国各地で2010年7月下旬から発生した記録的な豪雨により、1600名以上が死亡、2000万人以上が洪水で被災しました。私は、国際緊急援助隊医療チーム2次隊として9月12日から25日まで二週間、パンジャブ州ムルタン近郊での医療活動に参加してまいりました。環境の悪化により、マラリアや下痢の感染症が急増し多数の被災者が日本医療チームに殺到しました。1次隊から全16日間の活動で延べ3813名の患者さんを診療しました。

下志津病院の患者さまのため、この経験を活かし診療に役立ててまいりますので宜しくお願い致します。 撮影透視主任 馬場 啓



殺到する被災者



日本から持ち込んだ
エックス線装置

第43回塩田賞を受賞して

この度、第64回国立病院総合医学会にて第43回塩田賞を受賞いたしました。当院は、現在、独立行政法人国立病院機構の病院となっていますが、旧国立の時代から「医療」という医療全般に関する研究論文を収載する雑誌に掲載された優秀論文に対して「塩田賞」が授賞されています。今回、受賞した論文は



「SMIDデータベースから見た重症心身障害児(者)の重症化」という論文です。筆頭著者は、現在の国立精神・神経医療研究センター病院の小児神経科部長の佐々木征行先生で、国立病院機構南京都病院副院長の宮野前健先生と国立病院機構千葉東病院療育指導室の今井雅由室長と私が共同著者です。現在、国立高度専門医療研究センターである国立精神・神経医療研究センターと国立病院機構が「政策医療」として「重症心身障害」医療を受け持っています。近年、急速に重症心身障害児(者)の重症化が進んでおり、国立病院総合医学会で「重症心身障害児(者)の重症化」というシンポジウムが開催されるとともに、これに関する論文が雑誌「医療」に掲載された次第です。当院では重症心身障害病床120床の入院治療に加え、重症化した在宅の重症心身障害児(者)の短期入所や通園事業も実施して、重症心身障害児(者)の在宅支援にも力を入れています。今後も重症心身障害医療の臨床と研究にがんばっていきたく思いますので、よろしくお願いたします。

統括診療部長 山本 重則

ベストポスター賞受賞

当院の重症心身障害児者病棟は保育士6名が担当しています。利用者さんの生活の場として保育士は、楽器遊び、散歩、スキップ、製作などの様々な療育活動を行っています。利用者さんの日常生活を豊かにするために、私たち保育士は試行錯誤を繰り返しています。

この度、その効果が得られた結果を「第64回国立病院総合医学会」で発表しました。演題は、「SMID(重症心身障害)データベースを活用した療育活動への取り組み」という内容で、私たちはベストポスター賞という名誉ある賞を頂くことができました。

この賞は、私たち保育士にとって、とても励みになりました。これからも利用者さんの笑顔のために、療育活動を計画し、実施していきたいと思っています。

保育士 糸川 香奈恵



今回私たちは、第64回国立病院総合医学会で「重症心身障害児(者)の救急蘇生の手順の見直し～人形を使ってのデモンストラーションの効果～」という研究テーマで発表をしました。研究の中で重症心身障害病棟の問題点をスタッフ全員が再認識出来た事、救急蘇生の手順の見直しをした事で、看護者の安心感を得られた事は良かったと思います。

今回、私たちの発表がベストポスター賞を受賞する事が出来ました。研究に協力して下さった皆様・指導していただいた医師の方々に感謝をすると共に、今後

看護の向上に努めたいと思います。
看護師
橋本 幸一郎
(写真一番右)





キンボール部のご紹介

突然ですが皆さんは「キンボール」というスポーツをご存じですか？たぶんご存じない方がほとんどだと思います。なかなかマイナーなスポーツですが、当院には実は、「キンボール部」があります。

最初にキンボールの説明をさせていただきますが、一番気になるキンボールの「キン」、これは英語の「キネシス」の略です。そして特徴的なのがボールの大きさです。直径122cm、重さは約1kgのボールを使用します。このボールを使用し、4人1組で構成されたチーム（ピンク、グレー、ブラックの3チーム）がコート内でヒットやレシーブを繰り返す新しいゲームです。名前もユニークですが、最もユニークな所は、ボールをヒットする際大きな声で「オムニキン！」と叫んでから打たなくてはならない所です。

最初は少し恥ずかしいのですが、すぐに全く恥ずかしくなくなってしまうのがキンボールの不思議な魅力です。

昨年、千葉で開催された「千葉国体」にもキンボールは採用され、当院も4位タイという好成績を収めることができました。

毎週水曜日の午後6時から練習しています。一般の方も大歓迎ですので、興味のある方は、一緒にキンボールで汗をかいてみませんか？

保育士 小野澤 源



~もっと健康になろう!!~

「イトーヨーカドー四街道店」にて開催（平成22年10月23日(土)）

今回は、動脈硬化検査、骨密度測定、体脂肪測定、身体能力測定、健康相談、お薬相談、栄養相談、さらにクイズコーナーを実施いたしました。病院の各部署から協力を得て、地域の皆様の健康管理にむけて慌しくも楽しい一日を過ごすことができました。

買い物ついでに、無料で健康診断ができることもあり、老若男女を問わず500名以上の方が来場されました。中には、「毎回楽しみにしているんです」「次回はいつですか？」と、御近所の奥様方と一緒に集団で来場して頂けたりと、地域のニーズも高く、時間が足りないくらいに大盛況でした。

動脈硬化検査には長い行列ができ、急遽、予約対応する程でした。やはり3大疾病の予防意識が高いことが良くわかりました。もちろん私が担当していた体脂肪測定検査も、メタボ予備軍の私が担当していることもあり、ひっきりなしに検査を行っていました。スタッフ一同、地域の皆様の健康増進、生活習慣病や疾病の早期発見・治療へのきっかけになる事を願い、親切丁寧に対応していたのが、とても印象的でした。これからも、地域の皆様に信頼される中核病院として、スタッフ皆で協力して貢献していきたいと思っております。

副看護師長 一條 博志



巨木を訪ねて



7 厳照寺の門杉

昔ながらの農家が広がる平野の一角にある寺の正面にある。杉はまっすぐであり日本一美しい杉とされている。杉は太平洋側と日本海側では異なり、この杉はもちろん日本海側の杉でウラスギとよばれる。枝が垂れ、雪に強いとされている。向かって左の杉は幹周り6.6m、右は6.4mで、

地上10m以上である。

富山県砺波市福岡172 厳照寺

訪ね人：末石 眞



“看護職員募集”

充実した教育のもとで、ゆとりのある看護をしませんか。

私たちは、患者さま一人ひとりを尊重し思いやりのある看護を実践します。

【看護職員募集のお知らせ】

- ・応募資格 ①平成23年3月に看護師養成機関を卒業見込みの方
②看護師の資格を有する方
- ・勤務内容 病棟・外来での看護業務
- ・施設見学 施設見学を希望される方は下記までご連絡ください。

【奨学金制度について】

- ・対象者：正看護師養成校に入学される方、または在学中の方
年間50万円（看護学校卒業後、一定期間看護師として当院へ勤務した場合返済が免除となります。詳しくは当院ホームページをご覧ください。）

【保育所開園のお知らせ】

“子育て中の方、応援します。”

- ・平成23年4月 下志津病院保育所「こじか保育園」が開園します！

副看護部長 近藤才子

TEL：043-422-2511（内線720）

E-Mail：fukukango@simosizu2.hosp.go.jp



こじか保育園完成
予定図（イメージ図）

外来診療担当表

受付時間

8:30~11:00

平成23年2月1日現在

区分	月	火	水	木	金
内科 (一般内科科) (アレルギー科) (アレルギー科) (アレルギー科) (アレルギー科)	杉本 古川 平松 富沢	杉山 篠崎 古川 末石	吉田 古川 富沢 末石 岩本	杉山 杉本 篠崎 末石	杉山 杉本 小林 本田 平松
神経内科	(休診)	本吉 三方	本吉	(休診)	本吉 三方
小児神経科	大森	(休診)	石原	(休診)	(休診)
小児科 アレルギー科	西牟田 渡辺 中村 鈴木(修) 眞山	西牟田 根津 松浦 佐藤	山本 根津 中村 西牟田 (新患のみ)	篠原 渡辺 中村 佐藤	篠原 石原 鈴木(由) 鈴木(修)
外科	一木	白井 (10:00まで)	一木	長谷川	白井
整形外科	竹下 山中	後藤 鈴木(宗)	(休診)	山中 高橋 後藤	鈴木(宗) (予約のみ)
リハビリ テーション科	三方(指定する日)				

※ 小児神経科の初診の方は、完全予約制となっておりますので地域医療連携室へお問合せ下さい。

四街道市 乳児健診 健診は、第1・3木曜日14:00から行います。健診当日は13:30~14:00までに受付をお済ませください。予約は企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:00~17:00までです。

四街道市 乳がん検診 検診は毎週火曜日・金曜日に行います。検診当日は予約時間の5分前までに受付をお済ませください。予約は企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:00~17:00までです。

睡眠時無呼吸 専門外来 毎週水曜日、14:30~17:00に行います。受診日の16:00までに受付をお済ませください。(休診の場合もありますので、事前にご確認ください。)



■JR 四街道駅
 北口下車 徒歩8分
 JR 総武本線東京駅(千葉経由)から四街道駅まで約50分

■京成臼井駅
 京成電鉄京成臼井駅から千葉グリーンバス
 「四街道駅行き」に乗車(約25分)「消防署前」下車、
 徒歩1分

●東関東自動車道
 「四街道インター」から約5分(3Km)



独立行政法人 国立病院機構 **下志津病院**

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5
 電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007
 ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/>
 携帯サイト <http://www.hosp.go.jp/~simosizu/m/>



第7号

平成23年1月発行

発行責任者 吉田 孝宣
 編集委員長 末石 眞